

# 2020 年度 授業評価アンケート

1. 授業評価アンケートについて
2. 授業評価アンケートの実施方法・回答結果について
  - (1) 実施方法
  - (2) 各教員宛通知内容
  - (3) 授業アンケート結果
    - ①-1 前期授業評価アンケート結果 (1 学年)
    - ①-2 後期授業評価アンケート結果 (1 学年)
    - ②-1 前期授業評価アンケート結果 (2 学年)
    - ②-2 後期授業評価アンケート結果 (2 学年)

## 1. 授業評価アンケートについて

本学では、授業内容や教育方法の改善における組織的活動の一環として、学生に対する授業評価アンケートを年2回(前期・後期)実施し、その結果を公表することになりました。各担当教員は、アンケート結果を真摯に受け止め、今後の授業改善に役立てます。

つきましては、今回実施した標記アンケートの結果について公表します。

## 2. 授業評価アンケートの実施方法・回答結果について

### (1) 実施方法

本学では、前期、後期の2回授業アンケートを実施しています。

①前期授業評価アンケートでは、2020年4月6日～2020年7月30日まで前期授業を開講後、定期試験を実施し、定期試験終了後にアンケートを実施しました。後期授業アンケートでは、2020年10月1日～2021年1月22日まで後期授業を開講後、定期試験を実施し、定期試験終了後にアンケートを実施しました。この授業評価アンケートでは、本学1学年、2学年の全学生を対象に実施しました。アンケートは無記名回答とし、各学生がアンケート用紙に記入しました。

2020年度前期 学生による授業評価 (1学年)	
このアンケートは、「学生による授業評価」に関する内容です。	
以下の①～③の質問項目に該当する科目について○をつけて下さい。	授業内容について、チェックおよび具体的な意見を述べて下さい。
① 特に理解度の高かった	④本年度前期は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、1月の体育授業は理論学習、
② 特に興味深かった	
③ 特に難度の高かった	
	<b>授業評価アンケート見本</b> <b>2020年度前期 1学年の例</b> <b>実施時期・学年により科目変更</b> <b>※2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う</b> <b>オンライン講義等の実施に関する項目を追加</b>
基礎分野	
身体 哲	
医学	
運動 心	
専門分野	
解剖 剖	
生理	
基礎分野	
運動 学 1 前期	
運動 発 達 学 前期	
解剖 学 演 習 前期	
リハビリテーション概論 前期	
理学療法評価概論 前期	
※前期科目の中で終了していない科目は、後日確認します。	
※通年科目は、後期に確認します。	
※授業以外の学院生活について、感想、意見、要望などあれば具体的に述べて下さい。	
(教務部)	
(事務部)	
④試験対策期間の夜間開放について、 ( )良かった ( )どちらともいえない ( )利用しなかった ※上記チェック項目の具体的な意見を述べて下さい。	
⑤教員による学習サポート制度(Lサポ)について、 ( )良かった ( )どちらともいえない ( )良くなかった ※上記チェック項目の具体的な意見を述べて下さい。	
⑥9月以降、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、オンライン授業実施の可能性もありますが、前期の経験から、オンライン授業への要望・意見などありましたら、述べて下さい。	

見本に示します通り、各学年前期/後期に開講された授業科目全体を示し、①理解度の高かった科目、②興味深かった科目、③難度が高かった科目について、それぞれに該当する科目を1学年では3つ、2学年では5つに○をつけてもらう事としました。

また、講義(オンライン型/対面型)の感想、意見、要望、試験対策期間の夜間開放、学習サポート制度、講義以外の学校生活等について、自由記載による回答としました。

## (2) 各教員宛通知内容

各教員は、自分が担当する授業アンケートの結果について、全ての内容を確認します。

## (3)

### ①-1 前期授業評価アンケート結果 (1 学年)

前期 1 学年のアンケート調査は、対象 33 名に対し、2020 年 8 月 15 日に実施しました。

#### 【前期 15 科目について】

		開講 時期	授業内容		
			①理解度	②興味	③難度
基礎分野	身体哲学概論	前期	0	13	7
	医学用語	前期	23	8	1
	運動心理学	前期	3	13	3
専門基礎分野	解剖学Ⅲ	前期	2	2	23
	解剖学Ⅳ	前期	2	0	16
	生理学Ⅰ	前期	5	1	15
	運動学Ⅰ	前期	6	11	9
	運動発達学	前期	12	10	0
	解剖学演習	前期	20	15	10
	リハビリテーション概論	前期	11	10	7
理学療法評価概論	前期	8	12	6	

理解度の高かった科目は、医学用語、運解剖学演習、リハビリテーション概論、でした。

興味深かった科目は、解剖学演習、身体哲学概論、運動心理学でした。

難度の高かった科目は、解剖学Ⅲ、解剖学Ⅳ、生理学Ⅰでした。

#### 【自由意見について】

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い 4 月、5 月はオンライン型授業(一部課題学習)、6 月より対面型授業開始とし、それぞれの授業形態や試験対策期間の夜間開放、学習サポート制度、またオンライン型授業への課題について調査しました。

**【4月、5月に実施したオンライン型授業(一部課題学習)についての集計結果および感想など自由記載のまとめ】**

**【結果集計 ・良かった(64%) ・どちらともいえない(33%) ・良くなかった(3%)】**

入学式延期後、新入生オリエンテーション実施し、オンライン型授業(一部課題学習)で授業開始となり、不安も大きかったようですが、全体の約6割の学生が肯定的に捉えていました。本学でも初めての対応で試行錯誤しながら、オンライン型ではZOOMを利用し、学生との意見交換を重視しながら取り組んだことで一定の満足度が得られたようでした。具体的には、授業と課題により、理解度が上がり、オンライン型でもわかりやすい工夫が見られ、また質問にも随時対応することで、対面型さながらの満足度が得られたようでした。反面、パソコンの操作に慣れない事や画面を通してのやり取りでは、こちらの思いが伝わりにくく、取り組みに苦慮したという意見も多く、改善の必要性が感じられました。

**【6月以降の対面型授業についての集計結果および感想など自由記載のまとめ】**

**【結果集計 ・良かった(88%) ・どちらともいえない(9%) ・良くなかった(3%)】**

オンライン型授業(一部課題学習)に比較して授業理解度が高いという意見が多く、対面型授業を肯定的に捉える学生が約9割いました。周囲の友達や教員とやり取りしながら学ぶことで、理解度が高まり、学校に居る事で安心するという意見が多かったです。反面、実技授業の実施ができなかったことに対して不安が残るとする意見も挙がっていました。

**【前期全体を通して授業への感想・意見など自由記載のまとめ】**

オンライン型授業(一部課題学習)および対面型授業にて、前期の内容が履修できた事に満足感が高く、最初は慣れるのに時間がかかったが、様々な工夫や対応によって全体的には肯定的な意見が多くありました。ただ、実技面では物足りなさや不安が残り、感染状況を鑑みながら対応の必要性を感じました。

**【試験期間の夜間開放の集計結果および感想など自由記載のまとめ】**

**【結果集計 ・良かった(88%) ・どちらともいえない(9%) ・良くなかった(3%)】**

全体の9割程度の学生が夜間開放時間を利用し前期試験対策として学内を利用しており、学生達の満足度も高かったです。

**【教員による学習サポート制度の集計結果および感想など自由記載のまとめ】**

**【結果集計 ・良かった(61%) ・どちらともいえない(39%) ・良くなかった(0%)】**

教員に相談しやすく、学習計画を立てやすいなど学習サポート制度を肯定的に捉えている学生が6割いました。反面、どちらともいえない学生が4割程度で、これは常時、学生全体が制度対象ではない事や受動的になる面などの意見がありました。

**【今後のオンライン授業への要望・意見など自由記載のまとめ】**

オンライン型授業改善に向けた具体的な意見では、環境設定の整備、ホワイトボードの使い方、オンライン型授業の後は必ず復習確認の時間設定などの意見があり、新型コロナウイルス感染症状況に合わせた授業形態および環境設定の再確認となりました。

### 【前期を通して、教務部・事務部への意見など自由記載のまとめ】

教務部への意見では、教員と生徒との距離が近く、学業面や生活面など気軽に話せる環境でとても満足しているという意見が多くありました。本年度前期は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い学生行事がほとんど開催できず、何らの形式で実施したいという要望も多くありました。

事務部への意見では、迅速かつ丁寧な対応が良かったという意見が多くありました。

### ①-2 後期授業評価アンケート結果（1 学年）

後期 1 学年のアンケート調査は、対象 33 名に対し、2021 年 2 月 4 日に実施しました。

### 【後期 19 科目について】

		開講 時期	授業内容		
			①理解度	②興味	③難度
基礎 分野	脳 科 学 概 論	後期	8	6	3
	医 学 英 語	後期	15	3	2
	発 達 心 理 学	後期	3	4	7
	人 間 発 達 学	後期	1	3	4
	A D L 概 論	後期	10	6	0
	保 健 体 育	通年	8	11	1
専 門 基 礎 分 野	解 剖 学 I	後期	3	4	2
	解 剖 学 II	後期	1	3	5
	生 理 学 II	後期	9	2	3
	運 動 学 II	後期	1	5	24
	病 理 学 概 論	通年	0	1	6
	解 剖 生 理 学 演 習	通年	10	5	3
	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 医 学	後期	10	11	3
専 門 分 野	運 動 療 法 概 論	通年	4	8	6
	物 理 療 法 概 論	後期	3	6	16
	理 学 療 法 評 価 学 I	後期	2	7	2
	理 学 療 法 評 価 学 II	通年	5	6	2
	理 学 療 法 評 価 学 III	後期	0	4	11
	障 害 者 ス ポ ー ツ 学	通年	7	11	0

理解度の高かった科目は、医学英語、ADL 概論、解剖生理学演習、リハビリテーション医学でした。

興味深かった科目は、保健体育、リハビリテーション医学、障害者スポーツ学でした。

難度の高かった科目は、運動学 II、物理療法概論、理学療法評価学 III でした。

### 【自由意見について】

### 【後期を通して、講義の感想および意見など自由記載のまとめ】

前期に比べて、授業内容の難度も高くなり大変な反面、学校生活に慣れてきた様子でした。しかし、後期も一定期間オンライン型授業となり、対面・オンライン型授業それぞれ

の対応への苦慮や実技実習の実施頻度が下がり、理解できた科目と理解できにくかった科目があった意見も見られました。

**【試験期間の夜間開放の集計結果および感想など自由記載のまとめ】**

**【結果集計 ・良かった(39%) ・どちらともいえない(61%) ・良くなかった(0)】**

全体の約 4 割程度の学生が夜間開放時間を利用し後期試験対策として学内を利用していました。前期に比較してポイントが下がったのは、試験対策期間中、新型コロナウイルス感染症リスクが高まり、開放時間の短縮や使用制約など要因が考えら、どちらともいえないと回答した学生達は自宅学習と回答している意見が多かったです。

**【教員による学習サポート制度の集計結果および感想など自由記載のまとめ】**

**【結果集計 ・良かった(42%) ・どちらともいえない(48%) ・良くなかった(0)  
・無回答(10%)】**

教員に相談しやすくテスト計画など学習サポート制度を肯定的に捉えている学生が約 4 割いました。反面、どちらともいえない学生が約 5 割程度で、指導を受けてない学生が大半でした。

**【臨床見学実習についての集計結果および感想など自由記載のまとめ】**

**【結果集計 ・良かった(91%) ・どちらともいえない(9%) ・良くなかった(0)】**

本年度より、新カリキュラムとして導入した臨床見学実習について、肯定的に捉えている学生が約 9 割いました。理学療法士の業務内容がイメージでき、学内では体験できない臨床体験の重要性を認識し、患者様や指導者から学ぶことが多かった事などの意見がありました。

**【今後のオンライン授業への要望・意見など自由記載のまとめ】**

本年度、1 年間の授業より、オンライン型授業にも慣れたという意見が多かったです。改善に向けた具体的な意見では、環境設定の整備、動画の改善、ブレイクアウトルームの活用などがありました。

**【後期を通して、教務部・事務部への意見など自由記載のまとめ】**

教務部への意見では、頻回な面談実施などサポート面の充実への肯定的な意見がありました。前期に引き続き、本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い学生行事がほとんど開催できず、何らの形式で実施したいという要望もありました。

事務部への意見では、奨学金の事など丁寧な対応が良かったという意見が多くありました。

## ②-1 前期授業評価アンケート結果（2 学年）

前期 2 学年のアンケート調査は、対象 30 名に対し、2020 年 8 月 15 日に実施しました。

### 【前期 16 科目について】

		開講 時期	授業内容		
			①理解度	②興味	③難度
専門基礎分野	生 理 学 III	前期	12	16	6
	運 動 学 III	前期	18	21	2
	リ ハ ビ リ 整 形 外 科 学 I	前期	8	8	6
	リ ハ ビ リ 神 経 学	前期	7	13	23
	老 年 病 学	前期	14	6	1
専門分野	理 学 療 法 評 価 学 II	前期	21	11	3
	関 節 機 能 障 害 理 学 療 法 学	前期	4	3	15
	一 般 外 傷 理 学 療 法 学	前期	6	12	12
	末 梢 神 経 障 害 理 学 療 法 学	前期	21	9	3
	脳 障 害 理 学 療 法 学 I	前期	8	12	14
	脳 障 害 理 学 療 法 学 III	前期	10	17	7
	内 部 障 害 理 学 療 法 学 I	前期	1	2	18
	物 理 療 法 学	前期	7	8	6
	装 具 学	前期	5	7	1
	日 常 生 活 動 作 学 I	前期	0	2	24
	地 域 理 学 療 法 学 I	前期	7	2	3

理解度の高かった科目は、理学療法評価学Ⅱ、末梢神経障害理学療法学、運動学Ⅲ、老年病学、生理学Ⅲでした。

興味深かった科目は、運動学Ⅲ、脳障害理学療法学Ⅲ、生理学Ⅲ、リハビリテーション神経学、一般外傷理学療法学、脳障害理学療法学Ⅰでした。

難度の高かった科目は、日常生活動作学Ⅰ、リハビリテーション神経学、内部障害理学療法学Ⅰ、関節機能障害理学療法学、脳障害理学療法学Ⅰでした。

### 【自由意見について】

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い 4 月、5 月はオンライン型授業(一部課題学習)、6 月より対面型授業開始とし、それぞれの授業形態や試験対策期間の夜間開放、学習サポート制度、またオンライン型授業への課題について調査した。

**【4月、5月に実施したオンライン型授業(一部課題学習)についての集計結果および感想など自由記載のまとめ】**

**【結果集計 ・良かった(33%) ・どちらともいえない(60%) ・良くなかった(7%)】**

新年度開始延期、オリエンテーション実施後、オンライン型授業(一部課題学習)で授業開始となりました。全体の約6割の学生がどちらともいえないと回答していました。これは、環境設定がうまくいかず接続困難であり、オンライン型授業になれる事に時間を要した印象でした。反面、約3割の学生は、感染対策が必要な中、自宅で授業に参加できる事や時間の有効活用など肯定的な意見もありました。

**【6月以降の対面型授業についての集計結果および感想など自由記載のまとめ】**

**【結果集計 ・良かった(80%) ・どちらともいえない(13%) ・良くなかった(7%)】**

オンライン型授業(一部課題学習)に比較して授業理解度が高いという意見が多く、対面型授業を肯定的に捉える学生が約8割いました。周囲の友達や教員とやり取りしながら学ぶことで、理解度が高まるという多かったです。反面、オンライン型授業を解消する為か、授業スピードが速かったことや実技授業の実施ができなかったことに対して、不安が残る意見もありました。

**【前期全体を通して授業への感想・意見など自由記載のまとめ】**

1年次より授業理解度が高まり、オンライン型授業(一部課題学習)および対面型授業にて、前期の内容が履修できた事に満足度が高く、最初は慣れるのに時間がかかったが、様々な工夫や対応によって全体的には肯定的な意見が多くありました。反面、2年次での授業難度の高まりに不安や焦燥感を感じるという意見がありました。

**【試験期間の夜間開放の集計結果および感想など自由記載のまとめ】**

**【結果集計 ・良かった(73%) ・どちらともいえない(7%) ・利用しなかった(20%)】**

全体の約7割程度の学生が夜間開放時間を利用し前期試験対策として学内を利用しており、学生達の満足度も高かったです。

**【教員による学習サポート制度の集計結果および感想など自由記載のまとめ】**

**【結果集計 ・良かった(53%) ・どちらともいえない(40%) ・良くなかった(7%)】**

教員に相談しやすく、テスト対策計画を立てやすいなど学習サポート制度を肯定的に捉えている学生が約5割いました。反面、どちらともいえない学生が約4割で、これは常時、学生全体が制度対象ではない事や受動的になる面などの意見がありました。

**【今後のオンライン授業への要望・意見など自由記載のまとめ】**

オンライン型授業改善に向けた具体的な意見では、環境設定の整備、画質、板書の仕方、ブレイクアウトルームの頻度などの意見があり、新型コロナウイルス感染症状況に合わせた授業形態および環境設定の再確認となりました。

**【前期を通して、教務部・事務部への意見など自由記載のまとめ】**

マスク生活が大変だという意見がありました。

## ②-2 後期授業評価アンケート結果（2 学年）

後期 2 学年のアンケート調査は、対象 30 名に対し、2021 年 2 月 4 日に実施しました。

### 【後期 18 科目について】

		開講 時期	授業内容		
			①理解度	②興味	③難度
専門 基礎 分野	生 理 学 IV	後期	11	6	1
	運 動 学 IV	後期	10	10	5
	リ ハ ビ リ 内 科 学	通年	1	2	12
	リ ハ ビ リ 整 形 外 科 学 II	後期	1	2	6
	精 神 医 学	後期	5	4	10
	運 動 分 析 学	後期	7	10	7
	生 理 学 演 習	通年	2	2	0
専門 分野	理 学 療 法 評 価 学 III	後期	5	6	7
	ス ポ ー ツ 外 傷 理 学 療 法 学	通年	5	9	1
	脊 髄 障 害 理 学 療 法 学	後期	6	9	15
	脳 障 害 理 学 療 法 学 II	後期	8	2	1
	脳 障 害 理 学 療 法 学 IV	後期	12	8	2
	小 児 理 学 療 法 学	後期	0	4	10
	義 肢 学	通年	0	1	6
	日 常 生 活 動 作 学 II	後期	3	0	2
	運 動 療 法 技 術 学	後期	11	8	1
	認 知 運 動 療 法 学	後期	0	4	1
	地 域 理 学 療 法 学 II	通年	0	0	0

理解度の高かった科目は、脳障害理学療法学IV、生理学IV、運動療法技術学、運動学IV、運動分析学でした。

興味深かった科目は、運動学IV、運動分析学、スポーツ外傷理学療法学、脊髄障害理学療法学、運動療法技術学でした。

難度の高かった科目は、脊髄障害理学療法学、リハビリテーション内科学、精神医学、小児理学療法学、運動分析学、理学療法評価学IIIでした。

### 【自由意見について】

#### 【後期を通して、講義の感想および意見など自由記載のまとめ】

前期に比べて、授業内容の難度が高く、臨場的な考えや自分で考える科目も増え、テスト対策も大変だったという意見が多かったです。また、後期も一部オンライン型授業となりましたが、それぞれへの対応にも慣れ、集中できたという意見も多かったです。

**【試験期間の夜間開放の集計結果および感想など自由記載のまとめ】**

**【結果集計 ・良かった(47%) ・どちらともいえない(43%) ・良くなかった(7%)  
・無回答(3%)】**

全体の約 5 割の学生が夜間開放時間を利用し後期試験対策として学内を利用していました。自宅よりも集中できる事や友達との確認、教員への質問等を肯定理由としてあげていました。前期に比較してポイントが下がったのは、試験対策期間中、新型コロナウイルス感染症リスクが高まり学内では開放時間の短縮や使用制約など要因が考えら、どちらともいえないと回答した学生達は自宅学習と回答している意見が多かったです。

**【教員による学習サポート制度の集計結果および感想など自由記載のまとめ】**

**【結果集計 ・良かった(54%) ・どちらともいえない(43%) ・良くなかった(0)  
・無回答(3%)】**

教員に相談しやすく、日々の学習報告、テスト計画など学習サポート制度を肯定的に捉えている学生が約 5 割いました。反面、どちらともいえない学生が約 4 割で、指導を受けてない学生が大半でした。

**【今後のオンライン授業への要望・意見など自由記載のまとめ】**

本年度、1 年間の授業より、オンライン型授業にも慣れたという意見が多かったです。改善に向けた具体的な意見では、環境設定の整備、授業スピード、ブレイクアウトルームの活用(学生数の設定)などがありました。

**【後期を通して、教務部・事務部への意見など自由記載のまとめ】**

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、アルバイトができず生活面で大変だったという意見がありました。

その他は、教務・事務部共に学業面、生活面などサポート体制の充実に感謝の意見がありました。